



ブドウ狩りを楽しむ園児たち

つるた農事だより 実りの秋を迎え

～収穫と子どもたちの農業体験～

観光ぶどう園オープン

スチューベンブドウの作付面積、生産量ともに日本一を誇る当町で、10月6日(土)～21日(日)までの期間、町の観光ブドウ園がオープンしました。

観光ぶどう園は、主に国道339号沿いでブドウ園地を営む津軽ぶどう協会会員9人の4つの園地で開園され、町観光協会がスチューベンブドウの宣伝強化事業として、昨年から本格的な観光ぶどう園としてオープンしています。

オープンに先立ち、10月5日(金)、中央保育所の園児18人が、津軽ぶどう協会会長成田義弘さんの園地(境地区)で、一足早いブドウ狩りを楽しみました。園児たちはブドウの甘い香りの立ち込める園内で、ハサミを上手に使い、ブドウを丁寧に収穫していました。

スチューベン全国に

10月11日(木)、道の駅つるた・鶴の里あるじやで「スチューベンゆうパック出発式」が行われ、大小500箱の小包が全国の消費者へと発送されました。

出発式で津軽ぶどう村須郷貞次郎代表取締役は「今年のスチューベンは糖度が20%を超え、甘さがぎゅっと詰まった最高のできとなっています。」とあいさつを述べ、ひなづる幼稚園の園児たちによる

・スチューベンゆうパック第1便が出発



・園児たちによる積み込みセレモニー



たわわに実るスチューベン





①稲の掛け方を地元の方から教わる（菖蒲川小）

②コンバインでの稲刈りも体験しました（菖蒲川小）

③最初に稲の刈り方を職員の方から教わりました（田んぼの学校）

④収穫後の稲をリヤカーに載せて乾燥場へ（胡桃館小）

⑤田んぼの中はこんな感じで子どもたちが刈ってます（菖蒲川小）

⑥経験豊富な6年生たちは刈るのも早い（富士見小）

⑦刈った稲をせっせと運ぶ子ども（田んぼの学校）

⑧稲の棒掛け風景（富士見小）

○今年、町で行われた子どもたちの稲刈り
 9月19日（水）、富士見小・胡桃館小
 20日（木）、菖蒲川小
 29日（土）、田んぼの学校

■問い合わせ先
 産業観光課 農業振興班
 （内線293）

稲わらに関するについて
 は、産業観光課農業振興班で随時
 承っておりますので、ぜひご相談
 ください。

わら焼きせず有効利用を
 稲わらの有効利用にご協力くだ
 さり、わら焼きは控えてくださる
 ようお願いいたします。

なお、町では毎年、稲わらを有
 効活用した「稲わらふりーでん」
 や「稲わらフリーマーケット」な
 どを行っております。

町の児童たちが栽培を手掛けた
 学校田や田んぼの学校でも「手刈
 り」による稲刈り作業が行われ、
 今年も無事に収穫できた喜びを見
 童はじめ関係者全員で分かち合っ
 ていました。

コメの作柄は「やや良」
 今年の本県津軽地方のコメの作
 柄は「やや良」と発表され、町内
 の水田では9月14日ごろから下旬
 にかけて収穫作業が行われまし
 た。

和太鼓演奏と小包の積み込みセレ
 モニーが行われた後、来賓と主賓
 によるテープカットと同時にスチ
 ューベンゆうバックを載せたトラ
 ックが全国へと出発して行きまし
 た。



・写真右／稲刈り後、ク
 ラス全員で「刈ったど
 ー！」と喜びのお叫び
 （胡桃館小五年生）

・稲刈りを指導している
 ジュニアリーダーたち
 は手慣れた手つきで稲
 穂を束ねます（田んぼ
 の学校）